

お知らせ なんたん



第126号(3の3)平成23年4月8日発行

市民提案型まちづくり活動支援交付金課題の設定について

南丹市では、市民協働をさらに推進し、将来にわたって市民の皆さんが誇りを持つことができる個性的で魅力ある地域社会を実現するため、南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金制度を創設しています。この制度は市民の皆さんで組織されている団体に提案いただいた公益活動に対し支援を行うもので、自由なテーマでの提案による自由提案型事業と市があらかじめ設定したテーマに基づきご提案をいただく課題設定型事業の2つを用意しています。今年度の課題設定型事業の課題については以下のとおりです。なお、自由提案型・課題設定型ともに募集締め切りは5月6日(金)です。

地域での子育て支援活動	新規	子育て世代間の交流や異世代からの支援が重要となっていることから、地域の子育て支援活動を促進するとともに、各種の活動組織団体が情報を共有し、必要な支援を適切に提供できる仕組みを協働の中で取り組みたいと考えています。
高齢者集落活性化対策①	継続	高齢化比率が高い集落では、草刈りや除雪などの共同作業が困難になってきています。除雪は、昨年度から新たな支援を行っていますが、課題は山積しており、集落内でどのような取り組みを進めるべきか、具体的な課題解決に向けた取り組みを提案ください。
高齢者集落活性化対策②	継続	高齢化が進む地域では、高齢者が手軽に集う場所の提供や地域に関わる仕組みづくりが求められています。例えば、地域に保存されるたくみのワザの伝承や、小規模農家(家庭菜園的)の農作物の販売支援などの市民協働事業を提案ください。
交通安全見守り隊	継続	子どもたちが、交通事故や犯罪にあわない、あわせないための活動を目的として、特に、通学路における子どもの保護・誘導を行うなど、子どもの安全確保に関する事業を市民の皆さんの提案により協働で展開したいと考えています。
食の安心・安全活動	継続	親子における一連の農作業体験活動を通じて、食の安全性、食育、環境に関することなど、現在の食をとりまく社会の現状を考える活動を市民の皆さんに提案いただきながら一緒に展開したいと考えています。
地域交通支援対策	継続	本市の新しい交通体系のなかで、過疎地内における公共交通のあり方や、外出の交通支援の方法を研究し、どのような方法での取り組みが可能か、市民協働の中で連携し課題解決に向けての取り組みを提案ください。
環境教育・環境活動情報のネットワーク化	継続	個人、グループ、NPO、企業、行政など、さまざまな主体によって環境に関する教育や活動が行われていますが、それぞれの情報が集約・一元化されていません。これらの情報を一元化するネットワークの構築を進めたいと考えています。
不法投棄防止活動	継続	自分たちがまちをきれいにする取り組みを実施し、市民、事業者、各種団体、行政が協力し、不法投棄防止を図りたいと考えています。
ごみ減量、リサイクル・リユース活動	継続	ごみの減量化、資源の再利用など循環型社会の構築が求められている昨今、廃棄物対策だけでなく、市民生活や事業活動などと、より密接に連携した実践活動を展開したいと考えています。
廃食用油回収拠点の設置	継続	家庭から出る使用済み廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料や石鹸に再生することで、排水の汚染防止やCO2排出削減を図るため、市民、事業者、各種団体、行政などが手を結び、家庭からの廃食用油回収拠点を設置したいと考えています。
新エネルギー研究事業	継続	身近な地域社会の中に生かす新エネルギー活用の自主的な研究活動を支援し、もって今後の実用化を模索する市民活動を広げたいと考えています。
公園・緑地保全の維持管理活動	新規	身近にある公園・地域環境の向上を目的として整備された緑地などを環境財産として維持管理することにより、地域コミュニティの輪が広がり、住民相互の和をもたらす。また、緊急時の一時避難地である公園・緑地の位置確認ができる。その仕組みづくりに取り組みたいと考えています。
南丹市ふるさとの川クリーン運動	継続	市が管理する河川の空き缶やゴミ拾い、除草作業などの環境保全・環境美化活動の方法などを市民団体の皆さんにアイデアを提案いただき、楽しみながら進めて行きたいと考えています。
南丹市ふるさとの道クリーン運動	継続	河川と同様に市が管理する道路の空き缶やゴミ拾い、除草作業などの環境保全・環境美化活動の方法などを市民団体の皆さんにアイデアを提案いただき、楽しみながら進めて行きたいと考えています。
中心市街地の再生	継続	全国的に中心市街地が停滞・衰退傾向にある中、南丹市の「顔」でもある街なかを市民が憩い、楽しみ、経済と文化の中核をなす「中心市街地のにぎわい創出」を市民の皆さんの提案により共に取り組んでいきたいと考えています。

南丹市のブランド価値の向上	継続	「南丹市」の知名度は全国的にまだまだ低く、市民生活の向上と来訪者が楽しめる地域資源を生かしたまちの魅力向上が求められています。産業、観光の振興から、市民の皆さんに提案いただき、「南丹ならではのコトやモノ」を生み出し、育て、地域の魅力と誇りの向上に市民の皆さんと共に育てていきたいと考えています。
桜の咲乱れるゾーンづくり	新規	市の施設や市道の法面などを利用して、市の花「桜」を植栽し、桜の咲乱れるゾーンを形成することにより、観光面での活用を図りたいと考えています。
景観を活かしたまちづくり	新規	市内の優れた景観の保全、形成を進めるための取り組みを市民の皆さんと協働して進めたいと考えています。
国民文化祭を起点とした地域文化の振興	新規	国民文化祭の地域展開およびそれらを起点とした地域文化のさらなる振興に向け提案をいただきたいと考えています。
南丹市オリジナルブランドの確立	新規	南丹市は「ものづくりのまち」としてまちづくりを進めるがオリジナル力に欠けている。全国に誇る市のオリジナルブランドの確立を目指したいと考えています。
南丹市6次産業倶楽部の創設	継続	地域農林産物の生産者(1次産業者)と加工実施者(2次産業者)と流通・販売実施者(3次産業者)とのマッチングを通じて、6次産業倶楽部を創設し、提案をもとに南丹市スタイルの新たな産業を展開したいと考えています。 ※6次産業=1次産業×2次産業×3次産業
工芸みやげもの開発	継続	国文祭の開催を機に、提案により、「ものづくりのまち南丹市」ならではの「ほんまもんセット」を企画開発したいと考えています。
消費者被害の防止	継続	消費者を狙った悪徳商法の手口はますます巧妙になり、詐欺や不当請求なども増加しています。しかし、身近な家族や地域の方々の見守りにより防げる被害があります。そこで、消費者被害の防止に関する提案をいただき、市民の皆さんとの協働により消費者被害の防止に取り組んでいきたいと考えています。
動物愛護	継続	動物は、私たちの生活を豊にしてくれるかけがいのない存在ですが、鳴き声や糞尿などによる迷惑防止や、人の生命・身体・財産を侵害しないよう適切に管理する必要があります。人と動物が共生するより良い社会づくりを目指した普及啓発活動を市民の皆さんと共に進めたいと考えています。

◇問合せ先 地域振興課 TEL (0771) 68-0019

市内公共施設トイレなどに育児支援設備を設置しました

お子さんを連れての外出がしやすい環境づくり、子育てに優しいまちづくりを目指し、下記の施設におむつ交換台などを設置しました。必要なときにご利用ください。

施設名	設置場所
市役所本庁	1号庁舎1階身体障がい者用トイレ、女子トイレ 3号庁舎1階身体障がい者用トイレ
市役所八木支所	1階窓口付近、身体障がい者用トイレ
市役所日吉支所	2階窓口付近
園部公民館	ロビー付近
八木公民館	3階身体障がい者用トイレ
美山文化ホール	2階身体障がい者用トイレ、女子トイレ、ホール1階トイレ
文化博物館	1階男子トイレ、女子トイレ、ロビー
日吉町郷土資料館	身体障がい者用トイレ
園部保健福祉センター	1階ロビー付近
日吉保健福祉センター	1階ロビー付近
国際交流会館	1階身体障がい者用トイレ、女子トイレ、地階男子トイレ、女子トイレ
中央図書館	男子トイレ・女子トイレ
スプリングスひよし	ウェルカムプラザ1階身体障がい者用トイレ、リフレッシュプラザ(温泉・プール棟)身体障がい者用トイレ、リフレッシュプラザ(体育館)女子トイレ

※設置した設備は、折りたたみ式おむつ交換台(ベビーシート)、折りたたみ式ベビーチェア(ベビーキープ)、ベビーベッド、補助便座などです。施設により設置設備が異なります。上記以外にも育児支援設備が整っている施設があります。ご利用に当たって不明な点は各施設でお尋ねください。

◇問合せ先 子育て支援課 TEL (0771) 68-0017